

## ○若者定住奨励金交付事業の見直しについて(別紙2)

改善、新案	別の方法
<ul style="list-style-type: none"><li>○若者にこだわらず高齢の方も交付対象にして空きや対策も絡めるといい。</li><li>○若者定住にこだわらず出産、こども園の入園、小学校へ入学等のお祝い金にしてはどうか</li><li>○交付金額を現在のミネアサヒ1俵分の金額にする。</li><li>○新しくUターンしてきた人や結婚して配偶者と一緒に来た人を対象とする。</li><li>○作手地区の家を継いだ人、実家から通う人に就職祝い金等を交付する。</li><li>○空き家に引っ越してきた方に、片付けや引っ越し代として小額でもいいので交付金をだす。</li><li>○3年住んで交付金をもらうのはやはり嬉しいので、事業は続けた方がいい。</li><li>○地区の付き合いをしない方には、交付金を支払わなくてもいいのではないか。田舎は付き合いをしなくていいと勘違いをする人もいる。</li><li>○物よりも金券はうれしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○定住してもらうには生活環境の充実が必要であり、医療関係で魅力のある町、公共交通機関の充実を図る。</li><li>○カフェでの定住相談、キャンプ場、サウナ施設などの活動をSNSで情報発信をすることで、人と人とのつながりが生まれている。そこでSNSで「#作手スマイル」など共通のハッシュタグを付けて作手地区での活動、情報発信を行った人に交付金を出してはどうか。</li></ul>